

学力に関する証明書(別表第1) 高一種免(公民)

氏名		生年月日	年	月	日生
----	--	------	---	---	----

上記の者は、下記のとおり、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得したことを証明する。

年 月 日

大学長

記

1. 基礎資格

・学位の種類		・備考	
・在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日	(大学 学部 学科)	

2. 単位修得機関・単位修得期間

①学部	
②科目等履修 (他学部・他学科 受講含む。)	単位修得期間
	上記学校種・教科の課程認定を受けている学科等名

3. 単位

(1) 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	確認欄	単位修得済授業科目		備考
		名称	単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目 ・教科に関する専門的事項				
「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	○	法学概論	4	免許法施行規則上、必ず修得が必要な一般的包括的内容を含む科目、含む事項を含む科目。 卒業要件上の必修科目
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	○	社会学概論	2	
		社会学への招待	2	
		社会福祉学への招待	2	
		公共社会学Ⅰ	2	
		社会調査入門	2	
		社会イノベーション実践論	2	
		地域社会論	2	
		文化と表象の社会学	2	
		宗教社会学	2	
		環境社会学	2	
		ジェンダーと家族の社会学	2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○	哲学概論	4	
・各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
	○	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	
・上記複数の事項を合わせた内容に係る科目				
		小計	34	
教育の基礎的理解に関する科目				
・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○	教育原論A	2	※ 生徒・進路指導論を含む。
・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○	教職論	2	
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○	学校教育社会学	2	
・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○	学習・発達論A	2	
・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○	特別支援教育概論	2	
・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○	教育課程論	2	
		小計	12	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				
・総合的な探究の時間の指導法	○	総合的な学習の時間・特別活動論	2	
・特別活動の指導法	○			
・教育の方法及び技術	○	教育の方法と技術(ICT活用含む)	2	
・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○	生徒・進路指導論	2	
・生徒指導の理論及び方法	○	教育相談	2	
・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	○			
・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○		※	
		小計	8	
教育実践に関する科目				
・教育実習	○			
事前及び事後の指導		教育実習指導Ⅰ	1	
教育実習		教育実習指導ⅡB	2	
学校体験活動				
・教職実践演習	○	教職実践演習(中・高)	2	
		小計	5	
大学が独自に設定する科目				
		小計	0	
		計	59	

・ 上記の全ての単位を修得した年度	年度
-------------------	----

(2) 教育職員免許法施行規則第6条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位修得済授業科目		備考
	名称	単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2	
体育	スポーツ技術学演習	2	
外国語コミュニケーション	英語総合1 (A)	1	
	英語総合1 (B)	1	
	英語総合2 (A)	1	
	英語総合2 (B)	1	
	英語総合3 (A)	1	
	英語総合3 (B)	1	
	ドイツ語 I	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	I C Tリテラシー実習A	1	
	I C Tリテラシー実習B	1	
計		14	

【備考】

- ・ 上記「確認欄」には、各欄の左に記載されている科目又は事項を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。
- ・ なお、「教科に関する専門的事項」の各科目の「確認欄」には、各科目の一般的包括的な内容を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。

学力に関する証明書(別表第1) 高一種免（公民）

氏名		生年月日	年 月 日生
----	--	------	--------

上記の者は、下記のとおり、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得したことを証明する。

年 月 日

大学長

記

1. 基礎資格

・学位の種類		・備考	
・在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日	(大学 学部 学科)	

2. 単位修得機関・単位修得期間

①学部	
②科目等履修 (他学部・他学科 受講含む。)	単位修得期間
	上記学校種・教科の課程認定を受けている学科等名

3. 単位

(1) 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	確認欄	単位修得済授業科目		備考
		名称	単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目 ・教科に関する専門的事項				
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	○	法学概論	4	免許法施行規則上、必ず修得が必要な一般的包括的内容を含む科目、含む事項を含む科目。 卒業要件上の必修科目 中一種免も取得しようとする 必ず修得が必要な科目
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	○	社会学概論	2	
		社会学への招待	2	
		社会福祉学への招待	2	
		公共社会学Ⅰ	2	
		社会調査入門	2	
		社会イノベーション実践論	2	
		地域社会論	2	
		文化と表象の社会学	2	
		ジェンダーと家族の社会学	2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○	哲学概論	4	
・各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」	○	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
	○	社会科・公民科教育法Ⅱ	2	
・上記複数の事項を合わせた内容に係る科目				
		小計	30	
教育の基礎的理解に関する科目				
・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○	教育原論A	2	※ 生徒・進路指導論を含む。
・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）」	○	教職論	2	
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）」	○	学校教育社会学	2	
・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○	学習・発達論A	2	
・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○	特別支援教育概論	2	
・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）」	○	教育課程論	2	
		小計	12	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				
・総合的な探究の時間の指導法	○	総合的な学習の時間・特別活動論	2	
・特別活動の指導法	○	教育の方法と技術（ICT活用含む）	2	
・教育の方法及び技術	○	生徒・進路指導論	2	
・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○	教育相談	2	
・生徒指導の理論及び方法	○		※	
・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）」の理論及び方法	○		※	
・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○		※	
		小計	8	
教育実践に関する科目				
・教育実習	○	教育実習指導Ⅰ	1	
事前及び事後の指導	○	教育実習指導ⅡA	4	
教育実習	○			
学校体験活動	○	教職実践演習（中・高）	2	
・教職実践演習	○			
		小計	7	
大学が独自に設定する科目				
		道徳教育指導法	2	
		小計	2	
		計	59	

・上記の全ての単位を修得した年度	年度
------------------	----

(2) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位修得済授業科目		備考
	名称	単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2	
体育	スポーツ技術学演習	2	
外国語コミュニケーション	英語総合1 (A)	1	
	英語総合1 (B)	1	
	英語総合2 (A)	1	
	英語総合2 (B)	1	
	英語総合3 (A)	1	
	英語総合3 (B)	1	
	ドイツ語 I	2	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	I C Tリテラシー実習A	1	
	I C Tリテラシー実習B	1	
計		14	

【備考】

- ・上記「確認欄」には、各欄の左に記載されている科目又は事項を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。
- ・なお、「教科に関する専門的事項」の各科目の「確認欄」には、各科目の一般的包括的な内容を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。

【教科に関する専門的事項の選択科目が少なく、教職専門科目の選択科目を多く修得するモデル】

学力に関する証明書(別表第1) 高一種免(公民)

氏名		生年月日	年	月	日生
----	--	------	---	---	----

上記の者は、下記のとおり、教育職員免許法別表第1第2欄に定める基礎資格を有し、同表第3欄に定める単位を修得したことを証明する。

年 月 日

大学長

記

1. 基礎資格

・学位の種類		・備考	
・在学期間	年 月 日 ~ 年 月 日	(大学 学部 学科)	

2. 単位修得機関・単位修得期間

①学部	
②科目等履修 (他学部・他学科 受講含む。)	単位修得期間
	上記学校種・教科の課程認定を受けている学科等名

3. 単位

(1) 教科及び教職に関する科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	確認欄	単位修得済授業科目		備考
		名称	単位数	
教科及び教科の指導法に関する科目 ・教科に関する専門的事項				
「法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	○	法学概論	4	免許法施行規則上、必ず修得が必要な一般的包括的内容を含む科目、含む事項を含む科目。 卒業要件上の必修科目 中一種免も取得しようとする 必ず修得が必要な科目
「社会学、経済学(国際経済を含む。)」	○	社会学概論	2	
		社会学への招待	2	
		社会福祉学への招待	2	
		公共社会学Ⅰ	2	
		社会調査入門	2	
		社会イノベーション実践論	2	
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○	哲学概論	4	
・各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	○	社会科・公民科教育法Ⅰ	2	
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2	
・上記複数の事項を合わせた内容に係る科目				
		小計	24	
教育の基礎的理解に関する科目				
・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○	教育原論A	2	※ 生徒・進路指導論を含む。
		教育原論B	2	
・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	○	教職論	2	
・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○	学校教育社会学	2	
		教育社会学	2	
・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○	学習・発達論A	2	
		学習・発達論B	2	
・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○	特別支援教育概論	2	
・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	○	教育課程論	2	
		小計	18	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目				
・総合的な探究の時間の指導法	○	総合的な学習の時間・特別活動論	2	※ 生徒・進路指導論を含む。
・特別活動の指導法	○			
・教育の方法及び技術	○	教育の方法と技術(ICT活用含む)	2	
・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○			
・生徒指導の理論及び方法	○	生徒・進路指導論	2	
・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	○	教育相談	2	
・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○		※	
		小計	8	
教育実践に関する科目				
・教育実習				
事前及び事後の指導	○	教育実習指導Ⅰ	1	
教育実習		教育実習指導ⅡA	4	
学校体験活動				
・教職実践演習	○	教職実践演習(中・高)	2	
		小計	7	
大学が独自に設定する科目				
		道徳教育指導法	2	
		小計	2	
		計	59	

・上記の全ての単位を修得した年度	年度
------------------	----

(2) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則に規定する科目	単位修得済授業科目		備考
	名称	単位数	
日本国憲法	日本国憲法	2	
体育	スポーツ技術学演習	2	
外国語コミュニケーション	英語総合1 (A)	1	
	英語総合1 (B)	1	
	英語総合2 (A)	1	
	英語総合2 (B)	1	
	英語総合3 (A)	1	
	英語総合3 (B)	1	
	ドイツ語 I	2	
	I C Tリテラシー実習 A	1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	I C Tリテラシー実習 B	1	
	計	14	

【備考】

- ・上記「確認欄」には、各欄の左に記載されている科目又は事項を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。
- ・なお、「教科に関する専門的事項」の各科目の「確認欄」には、各科目の一般的包括的な内容を含めて、授業科目を履修し、単位を修得している場合に「○」を記載すること。